

# 発見！白井の仕事人 34

「最適な『きこえ』を目指してきめ細やかなサポート」  
博士補聴器

今回は、木下街道沿い白井第一小学校付近にある市内唯一の補聴器専門店「博士補聴器」を紹介いたします。



補聴器専門店「博士補聴器」の店舗

同店では、地域の聞こえに困っている人たち向けに補聴器・周辺機器の販売、相談や修理受け付け、調整を行っています。

店主の由井さんは幼少期から音響や電子機器に興味を持ち、大学で音響情報を学んだ後、オーディオメーカーでエンジニアとして勤務していました。

医療福祉関連の仕事をする家族の影響などもあり、それまで学んだ知識と経験を活かして、より人々の助けになる仕事をしたい、という思いから補聴器の世界に飛び込み、国内外で補聴器販売を学んだ後、同じようにして音の研究を積み重ねてきた奥さんと地元千葉ニュータウン地域に補聴器の店を出店しました。

補聴器に対する満足度が高い海外の国々では、より多様な設備や機器を駆使し、その調整が正しいかどうかを科学的根拠に基づいて客観的に判断すること

が重要視されていることから、同店には補聴器の特性や耳穴の形状による音響特性を測る装置や、国内では米軍横田基地と同店にしかない特殊な防音室が導入されています。

店主に話を伺うと「補聴器は買って終わりではなく買ってからが始まりです。装着や音に慣れ、音の調整も安定するまで頻繁に行う必要があります。ユーザーの主観的な評価と機械測定による客観的な評価のバランスを取りながら進めていくことが大切です。その後の調整や効果測定、点検なども視野に入れて検討されるのが良いと思います」とのことです。



日本に2台だけの防音ルーム

商工会で開始した「暮らしたんでもお助け隊」にも参加しており、お客さんの市内送迎も行っています。

これから補聴器を検討している人や今まで補聴器が合わなかった人も音のプロフェッショナルだからこその「博士補聴器」に気軽に相談してみませんか。

■ 商工振興課商工振興班 内線 3241

# 発見！白井の仕事人 35

「土づくりと完熟イチゴへのこだわり」  
谷嶋農園

今回は平塚地区でイチゴの栽培をしている「谷嶋農園」を紹介いたします。



ビニールハウスでイチゴを収穫する谷嶋さん

谷嶋農園は、夫婦2人で約30坪のビニールハウスでイチゴを栽培しています。

直売や通信販売に合わせて、4月上旬から5月上旬頃まで「観光農園」としてイチゴ狩りを運営しています。

谷嶋さんは15年前に自分の力を試してみたいと親が栽培している農作物とは違う「イチゴ」の栽培に取り組み始めました。谷嶋さんは、国の法律に基づいて「エコファーマー」という認定を千葉県から受けています。エコファーマーとは堆肥で土づくりをし、化学肥料や農薬の低減技術を組み合わせて農作物の栽培を行う農業者を言います。

谷嶋さんは「化学肥料では土が壊れてイチゴの味が悪くなってしまう」と言い、有機肥料による土づくりにこだわりの持ち、堆肥に馬糞ばふんともみ殻を使うこと

もに、病害虫の駆除もいろいろな資材を使い農薬を減らす努力を行っています。少しでもお客さんに安心して食べてもらいたいと常に考えています。

また、イチゴが一番おいしいときに食べてほしいと「完熟」にもこだわりの持ち、「完熟」しておりますので、なるべくお早目にお召し上がりください」と収穫日を明記したチラシを入れて販売と配送しています。

谷嶋さんは「有機肥料による自然の恵みを存分に取り入れて栽培したイチゴです。ご賞味いただいで、皆さんが笑顔になれるようにこれからも努力していきます」と話してくれました。



おいしい完熟イチゴを食べてくださいませんか

谷嶋さんがこだわりのもって栽培した「完熟イチゴ」を味わってみませんか。

イチゴの直売は12月中旬～5月上旬ごろまで 谷嶋農園 ☎ 090(8742)2791

■ 農政課農政班 内線 3252

# 発見！白井の仕事人 36

「銅合金で製品の見えない重要な部分を支える」  
株式会社藤井製作所

今回は白井工業団地にある「株式会社藤井製作所」を紹介いたします。

同社は1948（昭和23）年に設立され、非鉄金属である銅合金の製造メーカーとして溶解から加工まで一貫して製造しています。

主に、りん青銅・洋白・ベリリウム銅と、その快削（切る削るなどの加工に適した）合金の丸線棒・異型線棒を製造していますが、国内でも数社しか取り扱っていません。特に直径25以上の棒製品は国内でも一社しか製造することができない特殊な技術を持っています。

身近な製品では水性ボールペンの先部分に使われています。また、洋白という白金色に輝く合金はフルートやトランプットなど金管楽器の材料として同社の製品は欠かせません。

質感はもとより、分子レベルにまで達する精度の高い加工技術と合金組成が金管を通して深い遠な音色を響かせます。

このほかに時計の内部やパネ、歯車、自動車、電気電子部品、電車車両などの必要不可欠な部品、中でもりん青銅という合金は、高速で走る新幹線の動力電源を供給する架線をつくる「ハンガイヤー」という部材に使用され、その全てが藤井製作所の製品で作られているなど、同社の技術が高い信頼性と評価のもとに遺憾なく発揮されています。

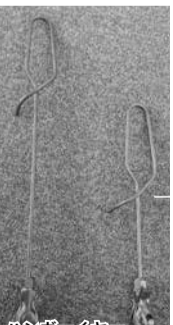
近年、銅の持つ殺菌効果が認められ、院内感染予防に役立つ銅合金などの製品に医療機関が

注目するようになってきました。

藤井製作所で取り扱う製品は殺菌効果の強い銅合金として日本銅センターに認定されています。今後も家電などあらゆる製品の一部分として重要な役割を果たしてまいります。



藤井製作所の工場全景



ハンガイヤー

全国の新幹線の架線をつくる部材に使用

同社の高橋総務課長は「線や棒状に加工したものが、全く形を変えて暮らしたそばで生きていくのが嬉しいです。また、工場内ではマラソンや卓球、アウトドアなど社内クラブも充実しており、春には花見会の開催など会社が主権となって社員の懇親を深め、より良い製品を製造する原動力となっています」と話してくれました。

普段、皆さんが利用している身の回りの製品に、藤井製作所の独自の加工技術で信頼性のある素材が使われているかもしれません。

■ 商工振興課商工振興班 内線 3241